

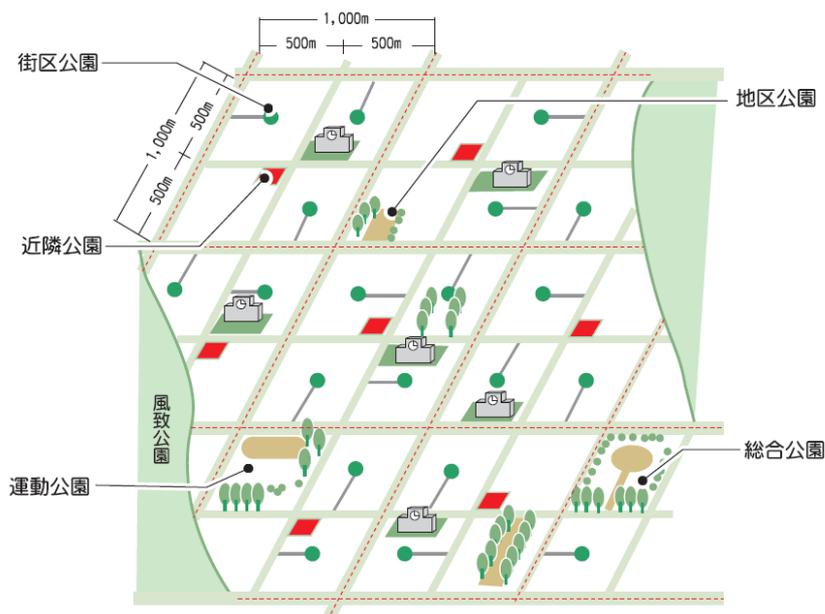
## 參考資料

## 1 札幌のみどりの情報

### (1) 札幌市の都市公園の種類・一覧

都市公園	基幹公園	住区基幹公園	街区公園	主に街区の住民を対象とした標準的な施設が配置された公園。250m以内の距離で行けるように配置され、標準規模は0.25ha。
		近隣公園	近隣公園	主に近隣の住民を対象とした標準的な施設が配置された公園。500m以内の距離で行けるように配置され、標準規模は2ha。
			地区公園	徒歩圏内の住民を対象とした公園でスポーツ施設や休憩施設が配置される。1km以内の距離で行けるように配置され、標準規模は4ha。
	都市基幹公園	総合公園	休憩や鑑賞、散歩、運動などを目的に市民が総合的に利用できる公園で、10～50haが標準的な規模である。円山公園、中島公園などがある。	
		運動公園	野球場やテニスコート、陸上競技場、プールなどの運動施設が設置されている公園。標準規模は15～75haで、手稲稲積公園、厚別公園などがある。	
	特殊公園	自然環境や景観を守ったり、史跡や名勝、動植物に親しむための公園で風致公園や動植物園、墓園などが該当する。大通公園や札幌芸術の森などがある。		
	広域公園	主に一つの市町村を超える広域の利用を目的とした公園。自然を生かしたさまざまな施設が設置され、標準規模は50ha以上。国営滝野すずらん丘陵公園と真駒内公園がある。		
	緩衝緑地	大気汚染や騒音、振動、悪臭などの公害や災害防止のために設置される。住居地と工業地帯、交通施設を分離することが必要な場所に設けられる。		
	都市緑地	都市の自然環境の保全や景観を向上させるために設けられる緑地で、0.1ha以上を標準としている。		
	緑道	災害時の避難経路の確保や歩行者や自転車が安心して通行するために設けられた帯状の緑地。幅員10～20mを標準として公園や学校、ショッピングセンター、駅前広場などを結ぶように配置される。		
自然緑地	森林レクリエーションの場として設けられる緑地で、市有林を活用した都市環境林と民有林を借用して開放している市民の森がある。			
その他の公共施設緑地	公園以外の一様に開放された公共施設の緑地。サッポロさとらんど、河川の緑地、北大付属植物園などがある。			

■公園の配置モデル図

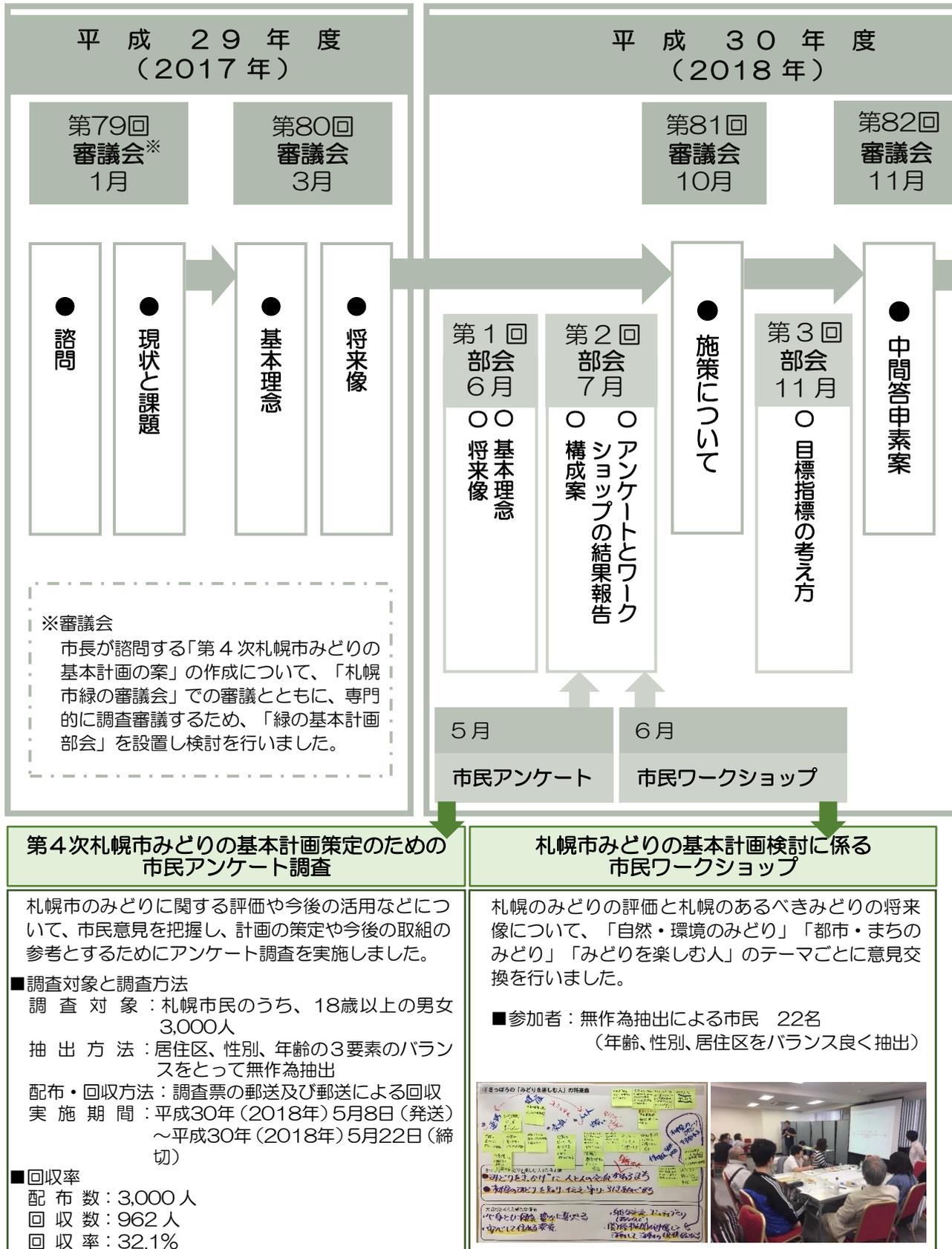


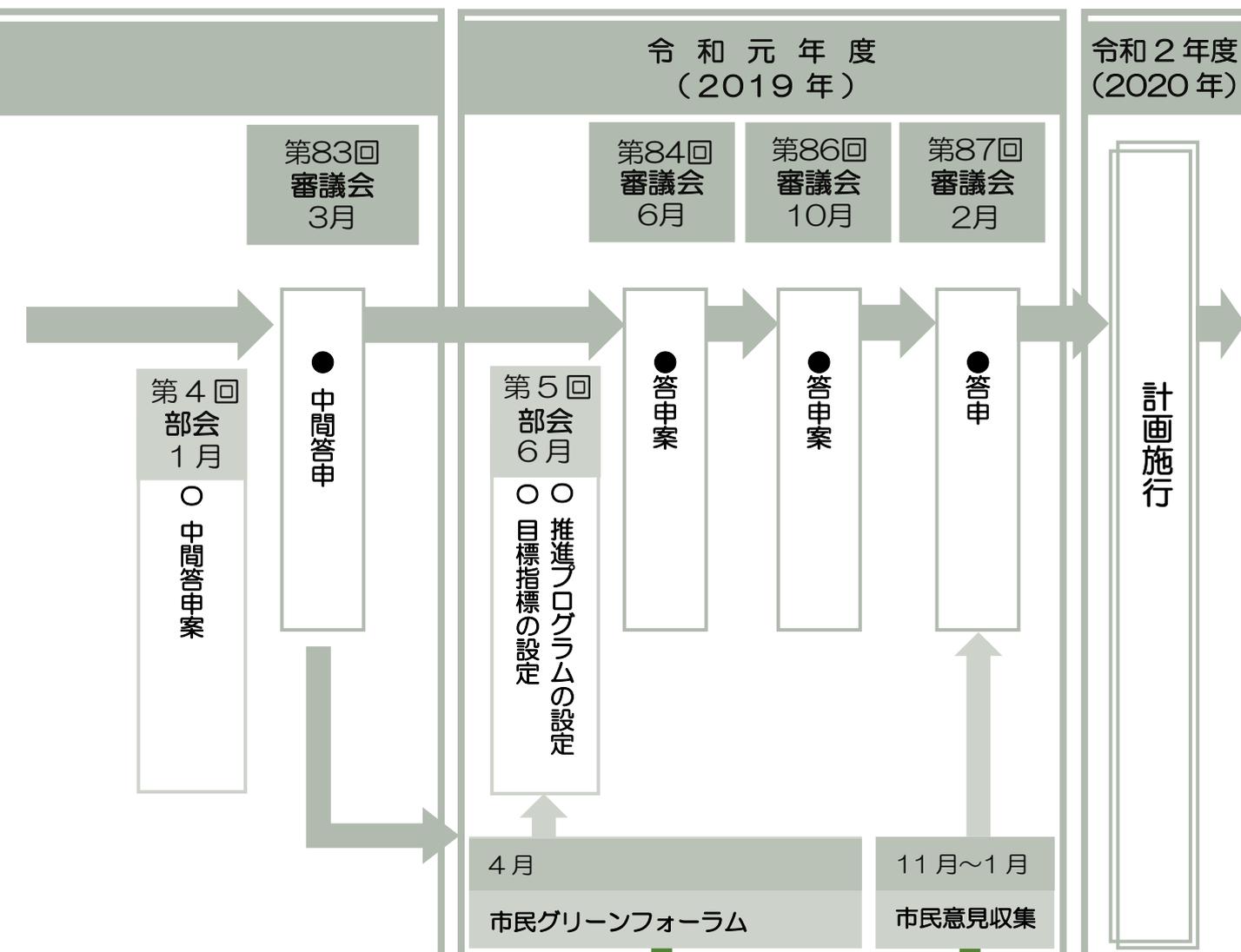
## (2) 札幌市の地域制緑地の種類

地域制緑地とは、法律や条例、要項などの制度によって、公有地、私有地を問わず良好な緑地を保全している場所を指します。札幌市では下表に示したものが指定されています。

都市計画法に基づく指定	風致地区	都市の風致を維持するために定められた地区であり、建築物の建築など風致に影響を及ぼす行為について一定の規制を設けている。
都市緑地法に基づく指定	特別緑地保全地区	良好な自然環境を形成している緑地を保全するために定められた地区であり、保全に著しく支障のある行為は禁止される。
森林法に基づく指定	保安林	災害の防止や公共の福祉の増進のために定められる森林であり、伐採など森林の機能が損なわれる行為は禁止される。
札幌市緑の保全と創出に関する条例	緑保全創出地域	特別緑地保全地区に準じた良好な自然環境を保全するために定められる地域であり、保全に著しく支障のある行為は禁止される。
	市民の森	民有林所有者の協力を得ながら、借地により良好な樹林地を保全するとともに、市民に自然とのふれ合いの場を提供する。
北海道自然環境等保全条例に基づく指定	環境緑地保護地区	市街地及びその周辺地のうち、環境緑地として維持または造成することが必要な地区を指定し、土地形質の変更などを規制する。
	学術自然保護地区	動植物の生息地、地質鉱物の所在地で学術上保護することが必要な場所を指定し、植物や鉱物、火入れ、水質の汚濁を禁止する。
	自然景観保護地区	良好な自然景勝地として保護することが必要な場所を指定し、土地形質の変更などを規制する。
都市の美観風致を維持するための樹林保全に関する法律による指定	保存樹木 保存樹林	由緒・由来のある樹木や市民に親しまれている樹木について指定するものであり、所有者は枯損防止に努めなければならない。
札幌市緑の保全と創出に関する条例		
道条例記念保護樹木による指定		

## 2 札幌市みどりの基本計画の策定経緯





**第4次札幌市みどりの基本計画  
市民グリーンフォーラム**

中間答申を広く市民に周知してご意見をいただくとともに、今後、札幌のみどりをどのように活かして都市の魅力を高めていくかを考える機会として開催しました。

- テーマ：これからの札幌のみどりを考える
- 来場者：430名  
(パネル閲覧、グリーンカフェ、トークセッションの来場者数の合計)

**市民意見収集**

みどりの基本計画(案)について、広く市民にお知らせし、ご意見を取り入れるために市民意見収集を実施しました。

- 募集期間  
令和元年(2019年)11月29日(金)～  
令和2年(2020年)1月17日(金)まで
- 意見の内訳  
意見提出者・意見数：9人・17件  
項目別内訳：第6章 計画の体系と施策に対するご意見 14件  
全体・その他のご意見 3件

### 3 札幌市緑の審議会

札幌市緑の審議会は、昭和52年（1977年）5月に「旧札幌市緑化推進条例」に基づき設置され、平成13年（2001年）10月に施行した「札幌市緑の保全と創出に関する条例」においても、引き続き、設置することとされており、みどりの基本計画の策定・変更など条例に定められた事項について審議するほか、市長の諮問に依りて緑の保全および創出に関する重要事項を調査・審議する機関です。

平成30年（2018年）1月に札幌市長より、本計画の案の作成を諮問されたことから、専門的に調査審議するための「基本計画部会」を設置し、本計画案を作成しています。

#### <第20次、第21次 札幌市緑の審議会委員名簿>

第20次任期 平成29年（2017年）7月～令和元年（2019年）6月  
第21次任期 令和元年（2019年）7月～令和3年（2021年）6月

氏名	第20次	第21次	所属等
アイコウ テツヤ 愛甲 哲也	◎◆	◎	北海道大学大学院農学研究院准教授
イマイ アスカ 今井 明日香			札幌弁護士会
オザサ タカオ 小篠 隆生	◆		北海道大学大学院工学研究院准教授
オザワ タケオ 小澤 丈夫			北海道大学大学院工学研究院教授
カタヤマ めぐみ 片山 めぐみ	◆	○	札幌市立大学デザイン学部講師
コイズミ アキオ 小泉 章夫	○◆		北海道大学大学院農学研究院教授
コニシ トシエ 小西 利枝			札幌商工会議所女性会
ササキ タカノブ 佐々木 貴信			北海道大学大学院農学研究院教授
シマダ アキヒロ 島田 明英			自然ウオッチングセンター代表
シモムラ カツコ 下村 勝子			札幌市民生委員児童委員協議会
セキ タケシ 関 剛			国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 北海道支所
タケウチ タダス 竹内 督			公募委員
タケザワ ミチ子 竹澤 美千子			公募委員
タツミ ケイ子 巽 佳子			公募委員
トヨシマ ノブエ 豊島 宣恵			一般社団法人北海道建築士会
フクダ ヒナ 福田 菜々			北海道科学大学工学部建築学科准教授
ミカミ ナオキ 三上 直之	◆		北海道大学高等教育推進機構准教授
ヤマモト ヤスシ 山本 泰志			公益財団法人北海道環境財団
ヨシダ ツヨシ 吉田 剛司	◆		特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所

◎会長、○副会長、◆部会委員

## 4 第4次札幌市みどりの基本計画策定のための市民アンケート調査

### ①アンケート調査の概要

札幌市では、市民3,000人を対象に、みどりの現状評価やみどりづくり活動などについて、市民意識を把握し、計画の策定や今後の取組の参考とするためにアンケート調査を実施しました。

#### 【調査対象と調査方法】

調査対象：札幌市民のうち、18歳以上の男女3,000人

抽出方法：居住区、性別、年齢の3要素のバランスをとって無作為抽出

配布・回収方法：調査票の郵送及び郵送による回収

実施期間：平成30年（2018年）5月8日（発送）～平成30年（2018年）5月22日（締切）

回収数：アンケートの回収数は962通であり、回収率は32.1%となっている。

アンケートの設問概要は下記のとおりです。

1. あなた自身のことについて（平成30年4月1日現在）
2. 札幌のみどりについて  
基本計画の認知度／札幌の風景・イメージ／札幌に不足しているみどり／市民や企業、行政が協力して優先して取り組んでほしいこと
3. 公園について  
小さな公園について／大きな公園と一緒にあると良い施設
4. 自然歩道について  
利用したことのある自然歩道／自然歩道の利用目的／自然歩道の整備方針／自然歩道の活用方法
5. 都心のみどりについて  
都心の公共施設の緑化の満足度／都心の民間施設の緑化の満足度／都心の公共・民間施設にほしいみどり／みどりを増やしてほしい都心の施設
6. 街路樹について  
街路樹の大切なはたらき／住まい近くの街路樹の有無／街路樹に関する取組みへの印象について
7. みどりのボランティアについて  
ボランティアへの参加の有無／参加のきっかけになりそうなこと／参加したいボランティア活動／参加したいボランティア活動の場所／ボランティア活動に期待すること

その他 自由記述

## ②アンケートの結果

= 札幌のみどりについて =

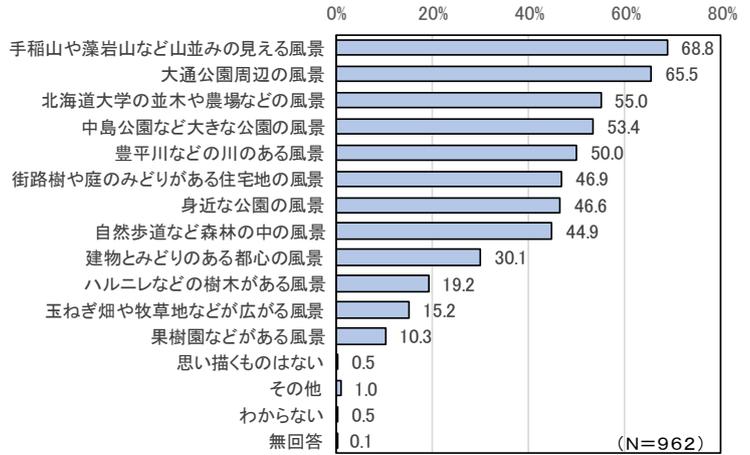
問2-2 札幌の原風景として思い描くものは、どのようなものか（あてはまるもの全てに○）

### 【全体の傾向】

「**山並みの見える風景**」が約69%と最も多く、次いで「**大通公園周辺の風景**」とが約66%であった。

### 【居住区別の傾向】

中央区では「中島公園などの大きな公園の風景」、白石区・豊平区では「豊平川など川のある風景」、北区では「北海道大学の並木や農場などの風景」が多く、**居住区内もしくは近隣のみどりを原風景として思い描いている傾向**が見られた。



問2-3 札幌のみどりに関する現状、何が不足していると思うか（あてはまるもの全てに○）

### 【全体の傾向】

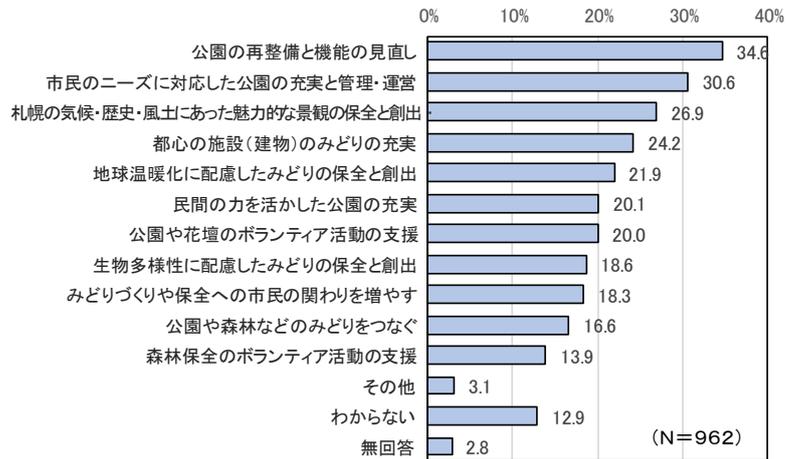
「**公園の再整備と機能の見直し**」が約35%で最も多く、次いで「**市民ニーズに対応した公園の充実と管理・運営**」が約30%であった。

### 【年代別の傾向】

上位3位はおおよそ全体と同様の傾向を示したが、**10～40代は「都心の施設（建物）のみどりの充実」、80代ではボランティアに関する回答**が上位となった。

### 【子育て世帯】

「**民間の活力を活かした公園の充実**」が上位となった。



問2-4 みどりをつくるために優先して取り組んでほしいことは何か（あてはまるもの全てに○）

### 【全体の傾向】

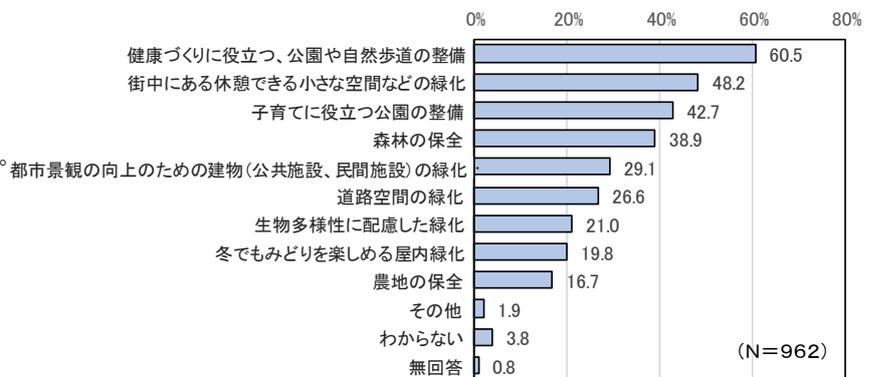
「**健康づくりに役立つ、公園や自然歩道の整備**」が約60%で最も多く、次いで「**街中にある休憩できる小さな空間などの緑化**」が約48%、「**子育てに役立つ公園の整備**」が約43%であった。

### 【年代別の傾向】

50、60代では他の年代よりも「**森林の保全**」の要望が多くあった。

### 【子育ての有無別の傾向】

子育て世帯は全体と同様の傾向であったが、子育て世帯以外は、「**森林の保全**」が上位となった。

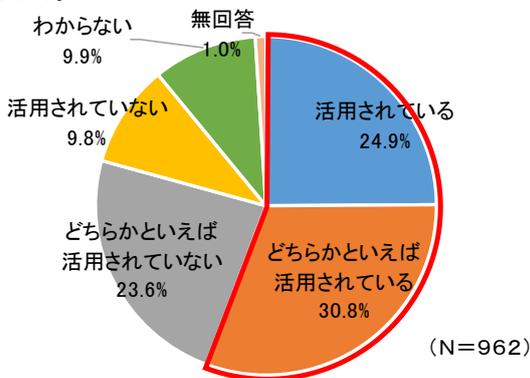


= 公園について =

問3-1 (1) 自宅近くの小さな公園は普段から活用されていると思うか(あてはまるもの1つに○)

【全体の傾向】

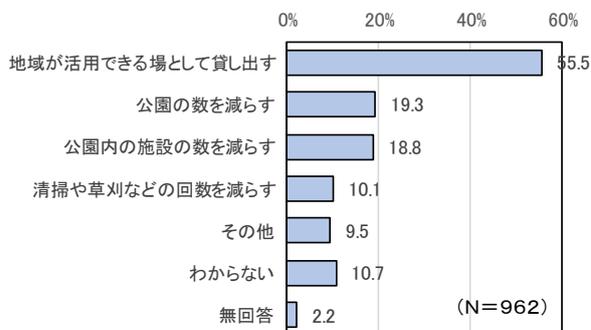
「活用されている」「どちらかといえば活用されている」を合わせると約56%が活用されているとの回答であった。



問3-1 (2) 今後の小さな公園のあり方はどうなっていくと良いと思うか。(あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

「地域が活用できる場として貸し出す」が約56%でもっとも多かった。



問3-1 (3) 地域が活用できる場として貸し出す場合、どのようなことに利用したいか。(あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

夏～秋の利用では、「夏まつりなどのイベントの場」、冬の利用では「雪置き場」が多かった。

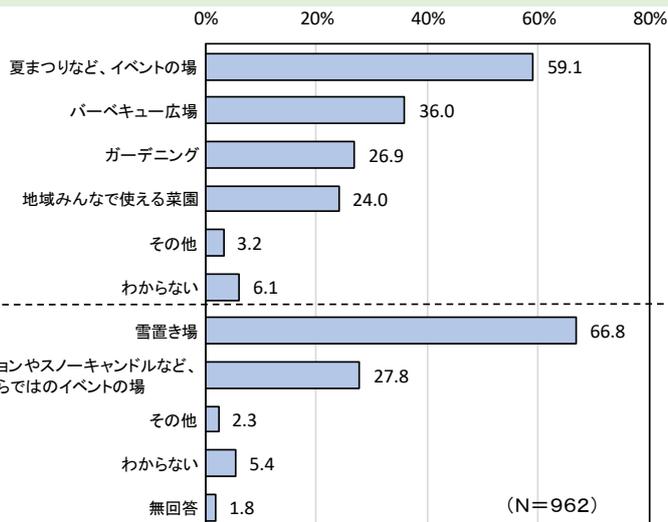
【年代別の傾向】

夏～秋の利用「バーベキュー広場」は、年代が低くなるにつれて要望が多くなった。10～30代では半数以上の回答があった。

30、40代の冬の利用は「雪置き場」が80%程度回答され、他の世代に比べニーズが高かった。

【春～秋の利用】

【冬の利用】



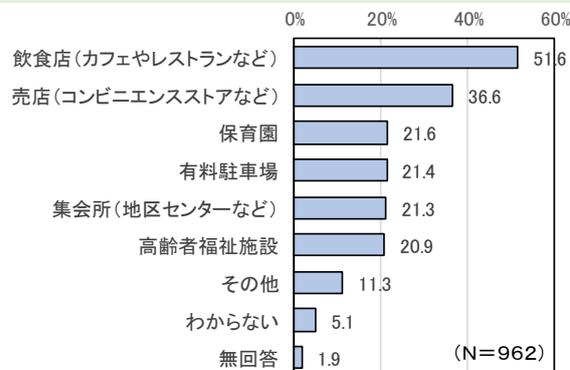
問3-2 札幌市の大きな公園(約300坪(約1,000㎡)以上)と一緒にあると良いと思う施設は何か(あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

「飲食店」は約52%、「売店」は約37%で要望が多くあった。「保育園」「有料駐車場」「集会所」「高齢者福祉施設」は20%程度であった。

【年代別の傾向】

10～70代では上位2位は、全体と同様の傾向となった。3位となったものは、20～40代では「保育所」、50～60代では「有料駐車場」60、70代では「高齢者福祉施設」で、各年代のライフスタイルに関わりの大きいものが選ばれる傾向にあった。



= 自然歩道について =

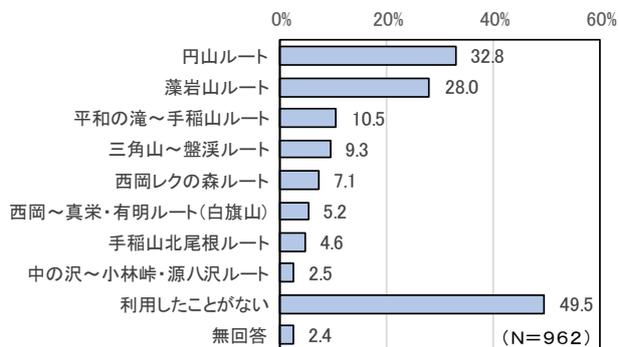
問4-1 (1) 利用したことのある自然歩道はどれか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

利用経験の有無は、ほぼ半数に分かれた。利用したことのあるルートとしては、「円山」が約33%でもっとも多く、次いで「藻岩山」が約28%であった。小学校等の遠足などで利用されているルートが多い結果となった。

【居住区別の集計】

中央区では「円山」、南区では「藻岩山」、西区では「三角山～盤渓」、手稲区では「手稲山北尾根」「平和の滝～手稲山」が他の区に比べ多く、居住区内もしくは近隣の自然歩道を利用している傾向が見られた。



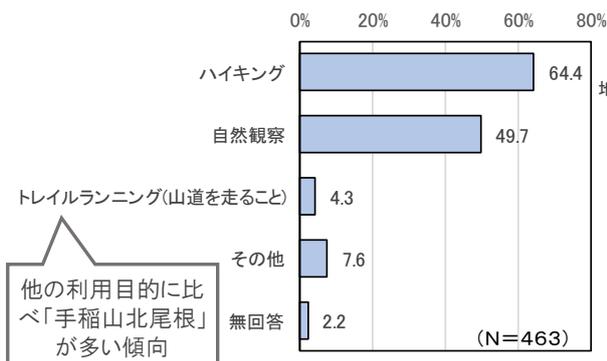
問4-1 (2) 自然歩道をどのように利用しているか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

「ハイキング」が約64%で、「自然観察」が約50%であった。

【年代別の傾向】

20代、60～80代以上では「自然観察」が50%以上で他の年代よりも多かった。



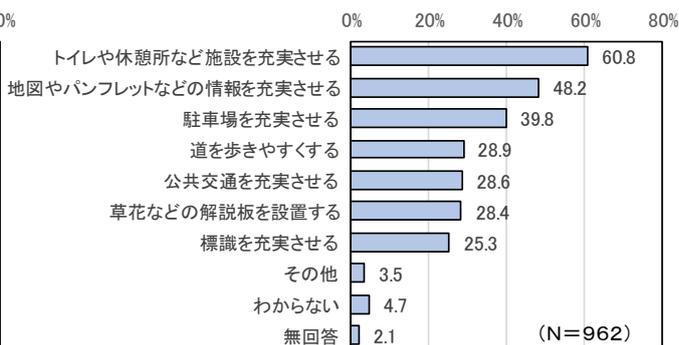
問4-1 (3) 自然歩道をどのようにすると使いやすいと思うか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

「トイレや休憩所などの施設の充実」が約61%、次いで「地図やパンフレットなどの情報の充実」が約48%であった。

【子育ての有無別の傾向】

子育て世帯では、「駐車場の充実」が子育て世帯以外に比べニーズが高かった。



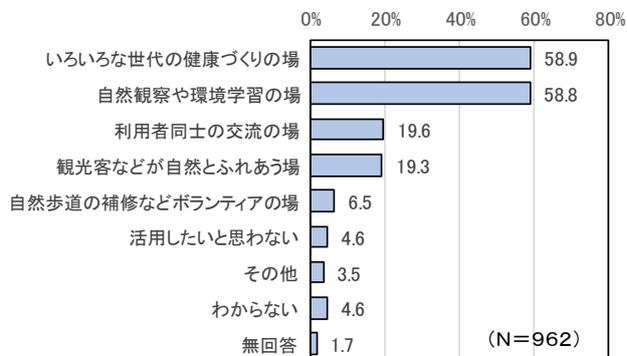
問4-1 (4) 自然歩道をどのように活用したいか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】

「健康づくりの場」「自然観察や環境学習の場」が60%程度で高いニーズがあった。「利用者同士の交流の場」や「観光客などが自然と触れ合う場」は20%程度であった。

【年代別の傾向】

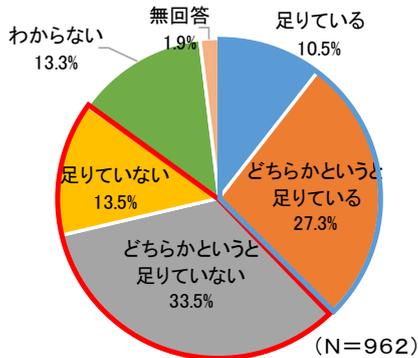
「健康づくりの場」「自然観察や環境学習の場」はすべての年代で上位となった。10～30代では、「観光客などが自然と触れ合う場」、60～80代以上では、「利用者同士の交流の場」が多かった。



= 都心のみどりについて =

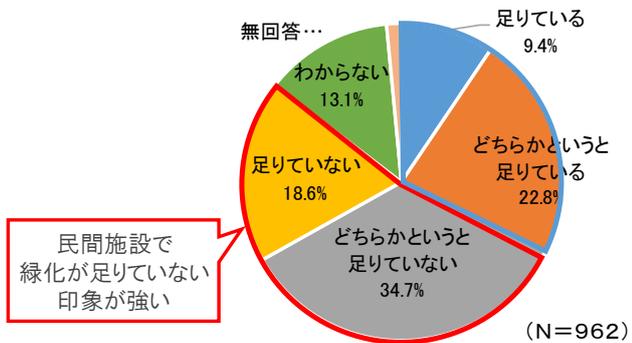
問5-1 (1) 都心の公共施設の緑化は足りていると思うか (あてはまるもの1つに○)

【全体の傾向】  
「足りている」「どちらかというと足りている」の合計は約38%、「足りていない」「どちらかというと足りていない」の合計は約47%であった。



問5-1 (2) 都心の民間施設の緑化は足りていると思うか (あてはまるもの1つに○)

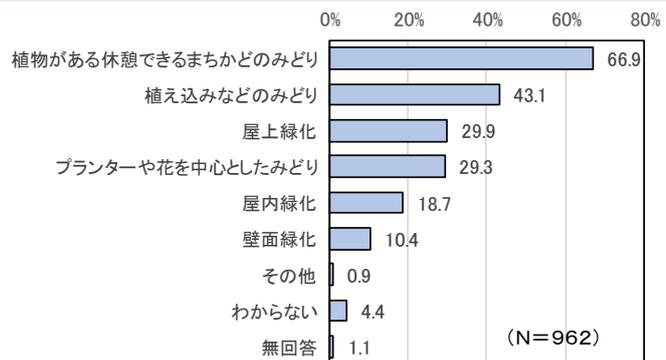
【全体の傾向】  
「足りている」「どちらかというと足りている」の合計は約32%、「足りていない」「どちらかというと足りていない」の合計は約53%であった。



問5-1 (3) 都心の公共及び民間施設にどのようなみどりがあると思うか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】  
「休憩できるまちかどのみどり」は約67%で最も多く、次いで「植え込みなどのみどり」は約43%であった。

【年代別の傾向】  
30～50代では、「屋上緑化」が40%程度で、他の年代に比べニーズが高かった。



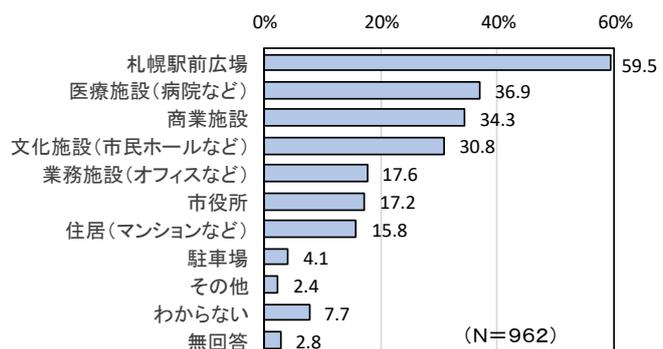
問5-1 (4) 都心のどのような施設にみどりを増やしてほしいか (あてはまるもの全てに○)

【全体の傾向】  
「札幌駅前広場」との回答が約60%と最も多かった。「医療施設」「商業施設」「文化施設」は30～40%程度であった。

【年代別の傾向】  
10代では、「札幌駅前広場」が約86%で突出して高かった。

20～50代では「商業施設」(40%程度)、50～80代以上では「文化施設」(30～40%程度)が他の年代に比べニーズが高かった。

普段利用する機会の多い施設に対するニーズが大きい傾向が見られた。

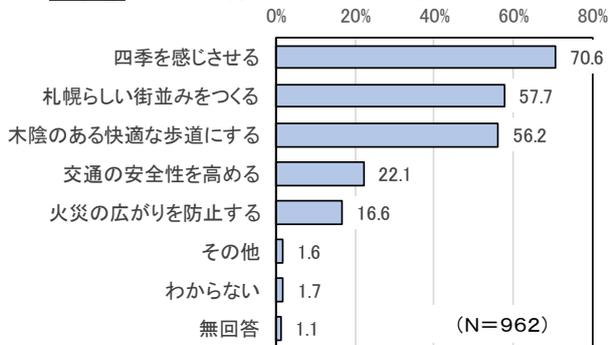


= 街路樹について =

問6-1 利用した街路樹の“はたらき”としてどれが大切だと思うか（あてはまるもの全てに○）

【全体の傾向】

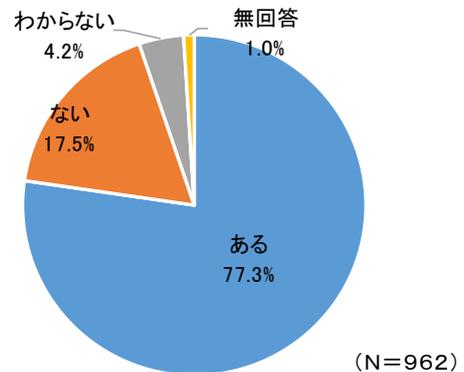
「四季を感じさせる」が約71%で最も多かった。「札幌らしい街並みをつくる」や「木陰のある快適な歩道にする」は60%弱の回答があった。



問6-2 住まいの近くに街路樹はあるか（あてはまるもの1つに○）

【全体の傾向】

「ある」との回答は約77%であった。

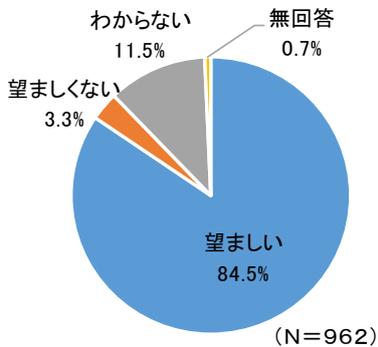


問6-3 札幌市の街路樹に関する取組について、どう思うか（あてはまるもの1つに○）

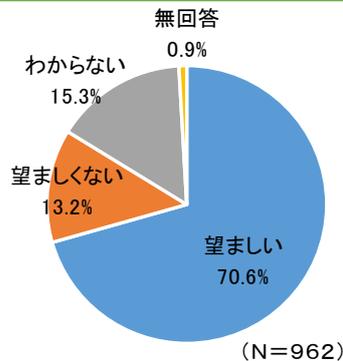
【全体の傾向】

すべての取組において「望ましい」との回答が70%以上と多くあった。特に「札幌の気候に適した種類に替えていく取組み」は約85%が「望ましい」との回答があった。

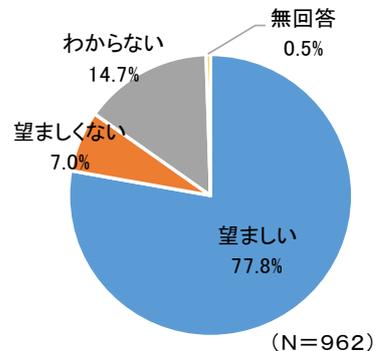
街路樹を札幌の気候に適した種類に替えていく取組み



狭い歩道の歩行や除雪に支障のある街路樹を撤去する取組み



多くの市民や観光客が目にする都心部の街路樹を、大きく育てる取組み



= みどりのボランティアについて =

問7-1 みどりのボランティアに参加したことがあるか（あてはまるもの1つに○）

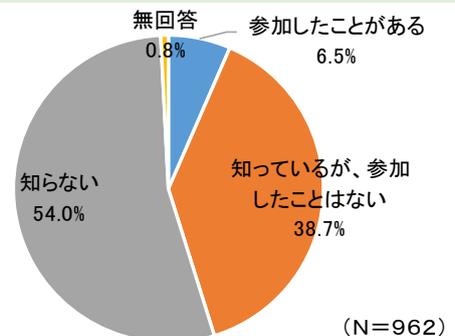
【全体の傾向】

活動自体を「知らない」との回答が約54%で半数以上となった。「知っているが参加したことがない」は約39%で、「参加したことがある」は約7%であった。

【年代別の傾向】

10～50代では「知らない」が多く、年代が低くなるにつれて割合が多くなった。10代では90%以上が「知らない」と回答した。

60～80代以上では「知っているが、参加したことがない」の割合が多かった。



問7-2 何があれば（また、どのようなときに）参加したいか（あてはまるもの全てに○）

※問7-1の「知っているが参加したことがない」の回答者のみ

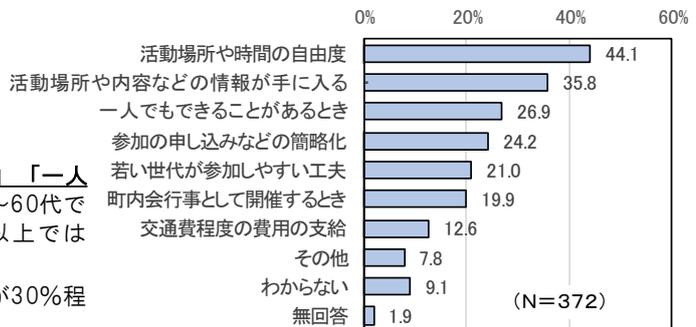
【全体の傾向】

「**活動場所や時間の自由度**」が約44%で最も多く、次いで「**活動場所や内容などの情報が手に入る**」が約39%であった。

【年代別の傾向】

10～40代では「**若い世代が参加しやすい工夫**」「**一人でもできることがあるとき**」が多かった。50～60代では「**参加の申込などの簡略化**」、70～80代以上では「**町内会行事として開催するとき**」が多かった。

20代、40代では「**交通費程度の費用の支給**」が30%程度と他の年代に比べ多かった。



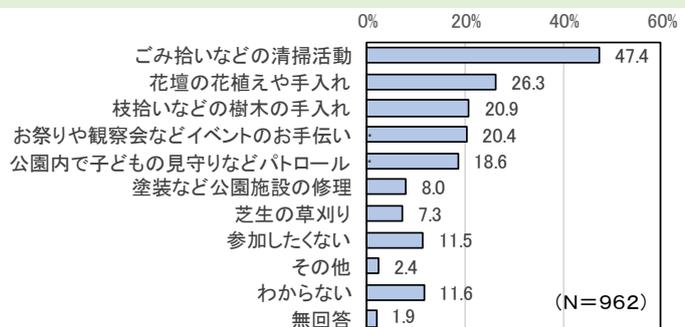
問7-3 今後、どのような活動に参加したいか（あてはまるもの全てに○）

【全体の傾向】

「**清掃活動**」が約47%で最も多く、次いで「**花植えや手入れ**」が約26%であった。「**樹木の手入れ**」「**イベントのお手伝い**」は20%程度であった。

【年代別の傾向】

10～30代では「**イベントのお手伝い**」が多く、年代が低くなるにつれて割合が大きくなった。



問7-4 どのような場所でボランティア活動に参加したいか（あてはまるもの全てに○）

【全体の傾向】

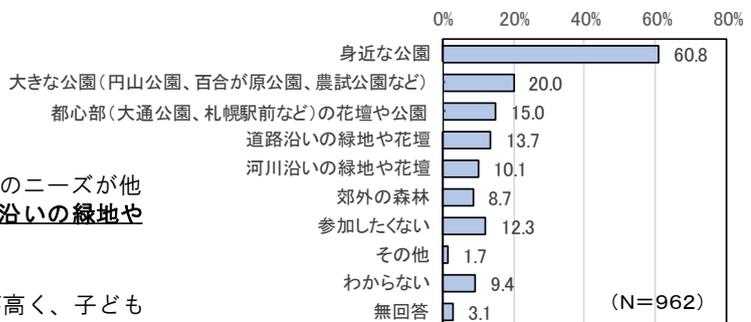
「**身近な公園**」が約60%で突出して多く、次いで「**大きな公園**」「**都心部**」との回答が多かった。

【年代別の傾向】

10～30代では「**大きな公園**」「**都心部**」のニーズが他の年代に比べ多く、60～70代では「**道路沿いの緑地や花壇**」が他の年代に比べ多かった。

【子育ての有無別の傾向】

子育て世帯では、「**身近な公園**」の割合が高く、子どもの年齢が低い世帯ほど、その割合が大きくなった。



問7-5 ボランティア活動に参加する際、何を期待するか（あてはまるもの全てに○）

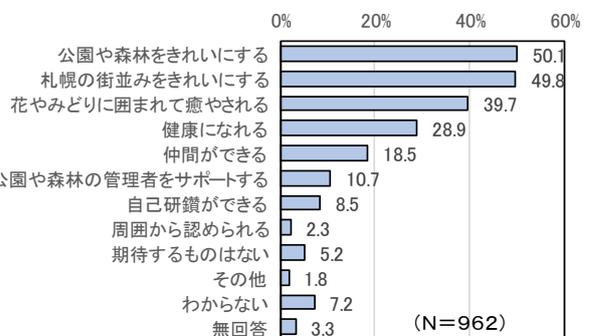
【全体の傾向】

「**公園や森林をきれいにする**」「**札幌の街並みをきれいにする**」が約50%で多く、次いで「**花やみどりに囲まれて癒される**」（約40%）「**健康になれる**」（約29%）であった。

「**自己研鑽**」や「**周囲から認められる**」は10%以下であった。

【年代別の傾向】

「**健康になれる**」は、**年代が高くなるにつれて割合が大きくなり**、80歳以上では約43%と他の年代に比べ多かった。



## 5 札幌市みどりの基本計画検討に係る市民ワークショップ

### ①ワークショップの概要

市民が意見交換を行いながら、将来像などについて話し合いました。

#### 【開催概要】

日時：平成30年（2018年）6月23日（土）13：00～16：00

場所：TKP 札幌ビジネスセンター（札幌市中央区北3条西3丁目1-44）

参加者：無作為抽出による市民 22名（年齢、性別、居住区をバランス良く抽出）

審議会委員 2名（愛甲会長、竹澤委員）

事務局 札幌市建設局みどりの推進部 4名、株式会社KITABA 8名

市民ワークショップは以下の流れで実施しました。

#### ■札幌のみどりについての情報提供

ワークショップ開催の背景と目的について説明したのち、札幌のみどりづくりの歩み、札幌のみどりの現状と課題について説明を行った。

話し合いのテーマとなる「自然・環境のみどり」「都市・まちのみどり」「みどりを楽しむ人」については、市民アンケートの結果なども交えながら、札幌のみどりの現状を深く掘り下げて情報提供した。



#### ■3つのグループに分かれて意見交換

STEP1の話し合いは、「自然・環境のみどり」「都市・まちのみどり」「みどりを楽しむ人」のテーマごとに3つのテーブルに分かれて、各テーマの現状について、プラスのイメージか、マイナスのイメージかを評価し、シール投票によりイメージの可視化を行った。

続いて、その理由を問いながら、みどりによって助かっていること、為になっていることについて意見交換を行った。



#### ■グループの意見を全体で共有

STEP2の話し合いは、各テーブルでの意見交換を参考にしながら、テーマごとの将来像について意見交換を行った。

他のテーブルで話し合われた内容を踏まえながら、各テーマのみどりの将来像がどのような姿になっていたらいいか、またそれによりどのような新たな価値が生まれるのかについて意見交換し、将来像についてのまとめを行った。



## ②意見交換の結果

### ア 自然・環境のみどり

プラスイメージ	<ul style="list-style-type: none"><li>○<u>山などみどりのある景色がきれい</u>で、札幌に戻るとみどりの良さを感じる。</li><li>○紅葉など、<u>四季を感じる</u>。</li><li>○まちなかや<u>身近に自然やみどりがある</u>。</li><li>○木陰ができるみどりがある。</li><li>○郊外公園などみどりが多く、南区のラベンダー畑、円山公園、手稲山、西野などはみどりが多い。</li><li>○藻岩山など、古来の在来種が存在する。</li></ul>
マイナスイメージ	<ul style="list-style-type: none"><li>○<u>まちなかのみどりが少なく</u>、農地など、<u>どんどんみどりが減っていて</u>、みどりを感じにくい都市構造になっている。</li><li>○<u>地域によってみどりの量の偏りがある</u>。</li><li>○<u>自然災害や野生生物（カラス、熊など）などとの共生が難しい</u>。</li><li>○外来種などが存在する。</li><li>○人によっては、花粉症などのアレルギーが発症する時期があり、暮らしにくい時もある。</li></ul>

#### ■助かっていること、ためになっていること

- 身近に自然があることで札幌らしさを感じる。
- 円山公園などは、子どもや生涯学習などの教育の場やツールになる。
- みどりは動物の生息地になっていて、身近に感じることができる。
- みどりは食物連鎖のベースとなり、生き物や人間の基盤になっている。
- 冬の美しい景色をつくることにつながっている。
- 二酸化炭素削減、大気の浄化につながる。
- みどりは目の保養（札幌はまだまだ足りない）にもなり、虫の声などは癒やされ、健康になる。
- みどりは食にもつながる。

#### ■将来像

- 四季の変化や在来種が札幌らしさを生むみどりの保全と活用をすすめる。
- 子どもから高齢者まで多世代が学べる場にする。
- 市民の視点、観光客の視点で守り育てる自然・環境のみどり。

- ・住宅地に住民が主体に花植えやみどりづくりができる公園を。
- ・きれいな河川、川のみどりづくりの見直しを。
- ・都市部の新築ビルなどは緑化を進める基準を上げ、札幌らしさを生み出し観光にもつなげる。
- ・減っている農地を活かすため、個人の農地を保存して市民農園などに活用する。
- ・都会でありながら自然に近いので、観光に来た人や子ども達の教育に活かし、環境の良い都市を目指す。
- ・在来種の花や樹木で札幌らしさを生み、ボランティア活動への参加などを通して子どもに教育する。
- ・地名の由来までの教育をする。（例「発寒」など）
- ・ガーデニング技術など、みどりづくりに関する幅広い教育の場と、広報の充実を図る。
- ・便利さだけではなく、不便な自然も受け入れるような市民意識が芽生えたら良い。
- ・観光のためだけでなく、住んでいる人が気持ち良くなるようにする。
- ・さまざまな人がみどりに触れる場(ボランティアなど)をつくることで癒しの効果を期待。
- ・街路樹などの適正な樹種選定で、人との共生(植物アレルギー対応)、適正な管理(引き算の管理)を行う。
- ・カラスやくマやシカ、虫とも仲良く暮らす。

#### ■大切だと考える新たな価値

- 自然と人の共生。
- みどりは食にもつながる。
- みどりは目の保養、癒され、健康になる。
- 生物多様性のスペース。
- 憩いの場、集いの場。
- 札幌らしさを観光にもつなげる。

## イ 都市・まちのみどり

### プ ラ ス イ メ ー ジ

- まちなかに大きな芝生、大通公園などのみどりがあり、身近に花やみどりが感じられる。
- 大通公園の花がきれい。
- 大通公園は大きい木があり、市民でも観光気分で楽しめる。道外の来訪者など、他人に教えたくなる場がある。
- JRタワーなどから見えるみどりの景色がきれい。
- 住宅地の植樹帯にラベンダーなど植えるなど個人のみどり・花づくりがある。
- 玄関先や家の周りなどに花を植えているため、身近なみどりがきれい。
- 居住地など、暮らしと自然が近く、中島公園など自然に触れられる公園がまちなかや身近にあるのが良い。
- 夏場の木陰をつくる街路樹が多くて良い。もっとあっても良い。

### マ イ ナ ス イ メ ー ジ

- 都心部のみどりが少なく、心がさびれてしまう。
- 民間施設の緑化など、都市とみどりの共存が必要。
- 住宅のみどりが減っている。
- 庭やバルコニーにみどりを増やす情報発信を。
- 都心の樹木のバランスが悪い。
- 倒木の危険があるなど、街路樹や民地のみどりの維持管理が行き届いていない。(強剪定含む)
- 風格のある並木がなく、街路樹の適切な樹種選定と管理(苦情に対応した強剪定など)が必要。
- 「観光都市」として、花あふれるまちにするべき。
- 老朽化した公園施設の管理など、子どもが遊ぶ場の充実を。
- 公園の災害時の機能を高める必要がある。

#### ■助かっていること、ためになっていること

- 子供からお年寄りまで多世代の活動の場になる。
- 公園などは子育て世帯に安心をもたらす、小さな子どもを安心して遊ばせる場となっている。
- 人が集う場になり、にぎやかさが、コミュニティ形成の機会になっている。
- 自分の気持ちがうれしくなり、人の心が和み、写真を撮っていて楽しい。
- 札幌のみどりをPRすることが観光振興につながる。
- 都市・まちのみどりが観光につながる。
- 街路樹は健康・心理面に効果を発揮し、楽しめる。
- 公園でのバーベキューなど、みどりを楽しむことにつながる公園活用を。

#### ■将来像

- 市民だけでなく、外部の人に自慢できる季節を楽しめるみどりがあるまち。
- 身近に触れられ、心を豊かにするみどりがあるまち。

- ・身近なみどりや彩りがきれいな花は、心を癒やし、楽しめる。
- ・季節を楽しめるイベントを開催できるみどりを増やし、外部の人にも見てもらえる場づくりを。
- ・桜を楽しめるみどりづくり、賑わいを生むみどりづくりが必要。
- ・少子高齢化に対応した、狭小公園の見直し、高齢者の公園運営への参加を促す取り組みを。
- ・みどりを増やし、外から札幌に来た人にも良いと思ってもらえる自慢できる都心づくりを。
- ・ビル等の緑化を強化、みどりと共存した街を目指す。
- ・快適な都市空間づくりや歩行環境の改善に向け、マンションとみどりの共存や、自転車走行のマナー改善が必要。
- ・街路樹を維持するための制度や支援金を確立し、民間の管理参画など、管理が行き届く仕組みづくりを。

#### ■大切だと考える新たな価値

- 市民とともに管理できる体制づくりが必要。
- 小さな公園を活用することで、地域の人々が活用できる場やコミュニティ形成の場となる。
- 心を豊かにするみどり。
- 自分の気持ちが嬉しくなり人の心が和む。
- 都市・まちのみどりが観光に。
- 街路樹は心理面に効果を発揮
- 癒し、楽しめる。

## ウ みどりを楽しむひと

- ブ  
ラ  
ス  
イ  
メ  
ー  
ジ
- みどりに関わる場や機会（町内会への花苗提供など）がある。
  - 大通公園が子どもたちの遊び場になっている。
  - 公園や河川敷が**多世代の活動の場**になっている。
  - 原生林や植物のある空間が**健康づくりの場**になっている。
  - 大通公園のピアガーデンやフラワーカーペットなど、みどりに関連するイベントや季節に応じたイベントがあり、良い印象を与えている。
  - 近隣住民による、サイクリングロードの手入れが**みどりとみどり、人と人をつないでいる**。
  - 子どもの頃のみどりに関わる場が、大人になってもみどりに触れ合う意識形成につながっている。
  - 子どもや高齢者が一緒にみどりを楽しめる場と、そのために大事な取り組みをすべきである。
  - 今回のような、市民を巻き込んだ取組や市民が考え意見交換する場があると良い。

- マ  
イ  
ナ  
ス  
イ  
メ  
ー  
ジ
- みどりを楽しむ場やボランティアに参加する**機会が少ない**。
  - 情報告知は十分ではない**ため、もっと拡大して理解が深まると良い。
  - ボランティア情報のポータルサイト等、**個人的にみどりを増やすきっかけとなる情報**があると良い。
  - さまざまな人の協力や支援、活動する人によって支えられていることがもっと知られると良い。
  - 学校以外でのボランティア活動への参加の仕方がわからない。企業単位で活動してはどうか。
  - 小学校の教育で自然を育む心の教育が不足。
  - 関心の低い人が参加したいと思うメリットの創造と、**多様な世代の参加を促す場づくり**を。
  - 多くの人が活動できるサポートが必要。
  - 多様な立場にあわせた参加の仕組みと方法を。

### ■助かっていること、ためになっていること

- 山菜等は食につながり、自給自足の生活が可能に。
- みどりを楽しむことが没頭できる時間、趣味となる。
- みどりを楽しむことは、**心を整え、やすらぎとなり、健康になり、人の心を和ませている**。
- 河川沿いの緑地などは、市民の**憩いの場、集いの場**になっている。
- みどりを楽しむことは、子どもの気づきにつながり、**教育の場**になる。
- 小さい頃からみどりに関わることで大人になってもつながっていく。
- 区ごとに植えている花の種類が違っていることが楽しむ機会になる。

### ■将来像

- みどりをきっかけに、**人と人の交流**が身近にあるまち。
- 札幌の**みどりを知り、伝え、守り、引き継ぐ**まち。

- ・学校などさまざまな組織と連携したボランティア活動（成果が見えやすい）や、他業種との情報共有（関係企業、連携先）が大事になる。
- ・公共機関や企業とで、まちが目指す大きなビジョンを描くことが大事ではないか。
- ・市民がみどりの現状を知ることが大切（園芸種、野草、在来種、外来種など）。
- ・心身の健康のため魅力的なボランティア活動をする。
- ・植物が育つ環境、育てる環境が人を育む。
- ・多様な楽しみ方が浸透し、交流、コミュニティができています。
- ・花植えと婚活イベントの組み合わせ、小さい頃から土に親しむ親子イベント、初心者向けのガーデニング講座などの充実を。
- ・高齢化の進展を考え、介護する人、される人も家の中やベランダでも楽しめる知恵情報があると良い。
- ・参加しやすいイベント企画など、効果的な情報発信がされている。
- ・SNSなど新しい（かつターゲットを決めた）宣伝を行う。

### ■大切だと考える新たな価値

- 心身ともに健康で豊かに暮らせる**。
- 安全・安心**して住むことができる環境になる。
- まちなかで**身近な交流、コミュニティづくり**ができる。
- 心身の健康**のためのボランティア活動

## 6 第4次札幌市みどりの基本計画市民グリーンフォーラム

### ①グリーンフォーラムの概要

市民グリーンフォーラムは、計画の中間答申を広く市民に周知してご意見をいただくとともに、今後、どのように札幌のみどりを活かして都市の魅力を高めていくかを考える機会として開催しました。

#### 【開催概要】

名称：第4次札幌市みどりの基本計画 市民グリーンフォーラム  
～これからの札幌のみどりを考える～

日時：平成31年（2019年）4月20日（土）  
10：00～16：00

場所：札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場（西）

対象：市民

内容：パネル展示、グリーンカフェ、トークセッション

主催：札幌市

広報：札幌市 HP、関係団体、関連施設等へのチラシ配布等

#### ■来場者数

内容	人数
パネル閲覧	130人
グリーンカフェ	110人
トークセッション	190人
延べ	430人

■アンケート回答 117人

#### ■パネル展示

計画の中間答申についての概要、検討の経過や今後の予定などについて札幌の魅力的なみどりの写真を交えて紹介した。

都市緑化機構様のお知らせ、NTT都市開発様の事例について紹介した。



#### ■グリーンカフェ

計画の中間答申について、市民の皆さんにご意見を伺った。



#### ■トークセッション

テーマ：「札幌都心の魅力向上に向けたみどりの作り方・活かし方・高め方」

##### ・コーディネーター

愛甲 哲也 氏

（北海道大学大学院農学研究院 准教授 / 札幌市緑の審議会会長）

##### ・登壇者

菊池 佐智子 氏

（公益財団法人都市緑化機構 企画調査部 副主任研究員）

駒井 厚生 氏

（エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 開発本部 副本部長）

小篠 隆生 氏

（北海道大学大学院工学研究院 准教授 / 札幌市緑の審議会委員）

内川 亜紀 氏

（札幌駅前通まちづくり株式会社）



## ②グリーンフォーラムの結果

### ア グリーンカフェ

計画の中間答申案を広く知っていただくとともに、「基本理念」「みどりの将来像」に対する意見、「4つの重視すべき視点」に関して取り組んでほしいことについて、ご意見をいただくスペースを設置しました。

当日は、直接市民の方々と対話しご理解いただいたうえで、「4つの重視すべき視点」のうち共感するものへのシール投票を行い、ご意見を頂きました。

#### ■取り組んでほしいこと

##### ▶視点① 人と自然の共生（得票数：17）

- ・長期的な視点をもった取組をしてほしい。
- ・人と自然の共生に向けた環境教育などの意識の醸成をしてほしい。

##### ▶視点② 都市の魅力の向上（得票数：19）

- ・街中のみどりを増加してほしい。
- ・市民や企業との連携による維持管理をしてほしい。

##### ▶視点③ 資源の有効活用（得票数：17）

- ・公園や樹木など既存のみどりを活用した魅力向上に取り組んでほしい。
- ・防災機能のあるみどり

##### ▶視点④ 地域コミュニティの醸成（得票数：17）

- ・地域コミュニティの醸成に向けたみどりの活用があるとよい。
- ・みどりを介した地域コミュニティを育む場がほしい。

#### ■基本理念、みどりの将来像について

##### ▶基本理念・・・概ね同意を得られた

- ・SDGsに取り組んでいてよい。
- ・誰でも明るく過ごせるまちを目指す。
- ・わかりやすい。

##### ▶将来像・・・それぞれの将来像について、概ね同意を得られた

- ・人との繋がりが大切だ。
- ・暮らして楽しい、みどりあふれるまち。
- ・公園にゴミを捨てる人を教育していかないといけない。
- ・子どもたちに地球環境保全についての教育をしてほしい。

##### ▶その他の意見・・・具体的な取組のイメージについて、意見が出された。

###### ○自然

- ・植える種類のバランスを考えてほしい。（サクラなど）
- ・公園の緑化に力を入れてはどうか。草花がなく樹木のみ箇所が多い。
- ・生物が活発な公園が増えると良い。
- ・花の名前がわからないので、名札をつけてほしい。

###### ○都市

- ・避難場所になるような緑地があると良い。
- ・手入れしてる人がいてキレイな町になっている。

## イ トークセッション

「札幌都心の魅力向上にむけたみどりのつくり方・活かし方・高め方」をテーマに、有識者、実践者、コーディネーターの5名によるトークセッションを行い、これからの札幌都心部のみどりのあり方を考える場としました。

### ■中間答申のポイントについて

#### ＜札幌市建設局みどりの推進部みどりの推進課＞

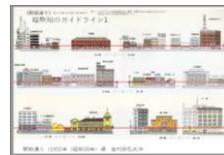
- ・計画の中間答申について紹介
- ・「都心のみどりづくり」の現状と課題について紹介

### ■話題提供

#### ＜北海道大学工学研究院 小篠氏＞

○パブリックスペースを都心の中にどう創り出していか

- ・以前の駅前通には、1、2階部分に連続性、統一性があった。
- ・1、2階部分が賑わいを生む重要な部分となる。
- ・民間施設と一体的な空間としてのオープンスペース整備が重要。



○場所への新たな価値づけをどのように行うか

- ・大学私有地や高架廃線跡、民有地・公有地の境界部分などを活用したパブリックスペースが創出されている事例がある。
- ・これらのパブリックスペースでは、周辺エリアも含めて賑わいが創出されている。



○都心に埋め込まれた居場所がどのように展開しているか

- ・ポートランドやニューヨークでは、都市の中にみどりのオープンスペースを点在させ、さまざまに活用される空間を、多世代に提供している。



○札幌都心部における「きっかけ」の可能性

- ・表通りだけでなく、中通りにもみどりを展開することができる。
- ・札幌市においても、行政だけでなく、事業者や利用者と一緒にみどりの質の向上に取り組んでいく必要がある。



#### ＜公益財団法人都市緑化機構 菊池氏＞

○都市の緑3表彰、SEGES（シージェス：みどりの認定制度）について

- ・屋上などを緑化し、立ち入ることのできる癒しや安らぎの場などを提供することで、商業施設としての盛り上がりにつながっている。
- ・都市の緑3表彰では、みどり豊かなまちづくりに関する「実績」「計画」「技術」の優れた取り組みを表彰している。SEGESでは、社会・環境に貢献する企業緑地の取組を総合的に評価、認定している。
- ・表彰制度によって、企業が取り組みやすくなるとともに、動機付けにつながっている。



## <エヌ・ティ・ティ・都市開発株式会社 駒井氏>

### ○事例の紹介

- ・品川シーズンテラスや大手町ファーストスクエアでは、日常的な憩いや遊びの場となるだけでなく、イベント開催などを行い、にぎわいを創出している。
- ・イベントなどの収益をもとに、維持管理を行う稼ぐパークマネジメントを実践している。



### ○開発手法・プロセスについて

- ・ビルオーナーや、テナント、地域住民、近隣ビルなど、さまざまな立場の人によるワークショップで、ビジョンの構築・共有を図り、計画をつくるのが重要。



## <札幌駅前通まちづくり株式会社 内川氏>

### ○公共空間（アカプラ・駅前通）での取組について

- ・まちなかのオープンスペースを活用し、季節にあわせた活用、賑わいづくりに企業等と連携し取り組んでいる。

### ○民間企業の取組

- ・民間企業によるみどりに関する取組が展開されている。
- ・民間と公共の境界線を越えたまちづくりに向けて、調整等を行い、まちづくりのガイドライン化を検討している。



## ■ディスカッション

### ○多様な人が関わる中での円滑な進め方について

- ・取組を続けることで、活動が活発になっていく。
- ・札幌都心においても、みどりによる価値づけが民間事業者を意識されるとよい。

### ○民間事業者がパブリックスペースに関わる際のモチベーションについて

- ・これまでみどりは、付加価値のためであったが、今はオープンスペースそのものの価値が認められてきている。
- ・エリアマネジメント的な考えで、地域住民などと協調していく必要がある。

### ○企業などさまざまな人たちの協力による管理について

- ・自分ごととして捉えることが大事。
- ・小さな取組の積み上げによって続けていくことが必要。

### ○札幌都心のみどりづくりへのヒントやアドバイスについて

- ・菊地氏：①ビジネス競争力の向上、②集客力の発揮、③企業や組織の評判の向上④労働意欲・学習意欲・創造力への刺激、⑤特徴ある施設づくり、⑥ランニングコストの節約、⑦暮らしやすさ、居心地の良さがうまれる、のどれかに着目し取り組むと良い。
- ・駒井氏：誰でもそこで何かをできるようなみどりが有機的につながるとよい。
- ・内川氏：潜在的にみどりに関わりたい人は実はいる。自分ごとの積み重ねがまちに広がっていくとよい。
- ・小篠氏：事業に対して利益になるような仕組みづくりが大事。中通りなどに小さなみどりがあると、魅力的なまちに生まれ変わる。

## ■まとめ

- 民間の緑化事業に対して利益になるような仕組みづくりが重要。
- 建物のみどりは付加価値ではなく、みどりそのものに価値がある。
- 中通りなども含めて、誰もが使えるみどりが有機的につながること、魅力的なまちに生まれ変わる。

## 7 第4次札幌市みどりの基本計画（案）に対する意見募集

### ①実施の概要

札幌市では、みどりの基本計画（案）について、広く市民にお知らせし、ご意見を取り入れるために市民意見収集を実施しました。

#### ア 募集期間

令和元年（2019年）11月29日（金）～令和2年（2020年）  
1月17日（金）まで

#### イ 資料配布・閲覧場所

- 札幌市建設局みどりの推進部みどりの推進課（中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館6階）
- 札幌市役所本庁舎 2階 市政刊行物コーナー、1階ロビーパンフレットコーナー
- 各区役所
- 各区土木センター
- 札幌市ホームページ

#### ウ 周知方法

札幌市公式ホームページへの掲載、広報さっぽろ 12月号への掲載、報道機関への情報提供

#### エ 意見の提出方法

郵送、FAX、電子メール、ホームページ上の意見募集フォーム、持参

### ②ご意見の内訳

#### ア 意見提出者・意見数

9人・17件

#### イ 居住区別内訳

区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	不明	合計
人数	3	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	9
件数	8	0	1	1	0	1	0	3	2	0	1	17

#### ウ 提出方法別内訳

提出方法	郵送	FAX	電子メール	HP	持参	合計
提出者数	2	0	2	4	1	9
構成比	22%	0%	22%	45%	11%	100%

## 工 項目別内訳

分類	件数
第1章 はじめに	0
第2章 現状と課題	0
第3章 重視すべき視点	0
第4章 基本理念とみどりの将来像	0
第5章 目標	0
第6章 計画の体系と施策	14
第7章 推進プログラム	0
第8章 各主体の役割と進行管理	0
参考資料	0
全体・その他のご意見	3
合計	17

#### ④意見の概要と札幌市の考え方

市民の皆さまからいただいたご意見については、要約や分割して掲載しております。

意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性1 持続的な森林保全・活用	
<p>01 P74 子どものころから自然と接する機会を増やし、自然とは何か、何故自然の中にいると心地よいのかなど、思考する機会を増やす必要がある。そのために、既に人の手が入った森は、専門家が知見を示したり、海外の取組を例に適切な管理を考える必要がある。</p>	<p>札幌市が保全している都市環境林の一部では、ボランティア団体が、専門家と協力して地域の小学生等を対象に森林教室などの活動を行ってきました。</p> <p>今後は、このような活動が広まっていくように支援してまいります。また、都市環境林などの人工林については、間伐などを行い適切に管理してまいります。</p>
<p>02 P74 若い人たちでも興味を持つように、森の中のツリーハウスを認可したり、コロニヘーヴのような小屋の設置を許可したり、自然栽培の普及を進めるなど環境や美観にも配慮してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、若い人たちが自然に親しむことは、大切なことと考えております。</p> <p>本計画の第6章の方向性1におきましても、良好な自然環境を保全しながら、市民が気軽に自然にふれあうことのできる場を提供し、登山や散策・自然環境などの森林レクリエーションの利用を推進していくこととしております。</p>
<p>03 P74 夏は森の中でのバーベキューや巨大ブランコ、バンジージャンプ、冬は自然の山を利用したソリあそび場や大倉山リフトを利用したバックカントリールートの設定など、スケールの大きな自然を利用して遊べる場所を提供してほしい。</p>	<p>引き続き、自然を守り、ふれあうためにはどのようなことができるのかについて、いただいたご意見も参考にさせていただきます。</p>

意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性2 生物多様性に配慮したみどりの保全	
<p>04 P77 みどりは地域の自然環境を保全・再生し、生物の生息・生育空間となるなど重要な役割を果たしていることは、全く同感である。“生物多様性に配慮したみどりの保全が重要な役割”であるならば、公園内でのタバコ、火気使用は認めないようにしてほしい。</p>	<p>札幌市都市公園条例では地域に根差した行事など特別な場合を除き公園内での火気の使用を禁止しています。また、喫煙については、利用者が多い公園等を中心に受動喫煙防止への配慮をお願いしているところです。</p> <p>今後も、社会情勢や他都市の状況も見ながら、公園での受動喫煙防止対策について検討していきます。</p>
方向性7 街路樹のメリハリのある管理	
<p>05 P90 より一層の努力を行って、街路樹を充実させてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹が欠けている所が数多く見受けられ、並木になっていない。景観が損なうのと緑のボリューム感が得られないため、既存の街路樹樹に補植してほしい。</li> <li>電線地中化工事の際に街路樹を伐採するのではなく、道路建設部局と連携して街路樹を残すように設計をしてほしい。</li> <li>民有地の工事の為に街路樹が伐採されるケースが目立っている。伐採の申請は、簡単に許可しない、若しくは補植させる条件を付ける必要がある。</li> <li>国道の電線地中化工事の際、街路樹が補植されていない。街路樹を復旧するよう、国に対して要望をしてほしい。</li> </ul>	<p>街路樹は、身近な緑として季節感や安らぎを与えるとともに、みどり豊かな景観を形成するうえで重要な役割を果たしており、都市のみどりとして必要不可欠なものです。</p> <p>街路樹を将来に向けて、安全かつ美しい道路空間として形成していくため、街路樹が老朽化している路線については、計画的に樹種に配慮した更新をすることや、幅員の狭い路線については、新たに街路樹を植えない等の廃止も検討しております。また、都心部や主要幹線においては、ボリュームのある樹形づくりなどに取り組んでいきます。</p> <p>なお、道路工事やビルの建替え等により街路樹の現状維持が困難と認められる場合には、原則同一路線内に移植又は補植することを条件としているところであり、今後も街路樹が保全されるよう適正に維持管理していきます。</p>

意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性9 ニーズに応じた安全・安心な公園の再整備	
<p>06 P94 公園でのボールの使用が禁止されていたり、子どもや若者がサッカーや野球などを伸び伸びとできる規模の施設が、中心部から遠いところにあるなど、スポーツ環境が充分ではない。スポーツのできる公園を増やしたり、公共施設や学校の屋上を囲い、バスケットやテニス、フットサルなどに開放するだけでも、運動不足解消や自然への入り口となる。</p>	<p>公園の運動施設について、市ではこれまで、公園の規模や施設の配置バランスを考えながら整備をすすめてきたところであり、公園内の運動施設などの検索については、利便性の向上のため携帯端末でも検索できるように対応したところです。</p> <p>今後は、本計画の第6章の方向性10にもあるとおり、中学生や高校生など若者の健やかな心身の育成のため、ニーズに応じた公園施設の整備について検討してまいります。</p>

意見の概要		市の考え方
第6章 計画の体系と施策		
方向性10 公園の適正な管理と活用の推進		
07 P98	公園の管理で、ゴミ（紙、ビニール、缶、吸いがら等）が放置されているのが気になる。以前は地域のボランティアの方が回収されていた。ゴミのない、安全な場所を維持することを前提に、公園管理をお願いしたい。	誰もが安全に安心して公園を利用することができるよう、適切な維持管理に努めるとともに、公園の維持管理や運営に地域が参加する機会を増やし、市民の満足度や公園に対する愛着を育みながら、より良い公園管理を行ってまいります。
08 P98	大通公園や中島公園、農試公園、月寒公園、前田森林公園など、札幌市の都市公園はとても特色があり訪れるたびに清々しい気持ちになる。今後も、大都市でありながらも、この豊かな自然環境を維持発展してほしいと願う。	本計画の第4章では「持続可能なグリーンシティさっぽろ」を基本理念としており、今後は自然環境を保全しつつ、魅力ある公園づくりに努めてまいります。
○ICT活用		
09 P99	公園には電磁波過敏症の方々も来られるので ICT の活用は不要である。公園の花壇や草木を直に見てもらふべきで、アナログの表示板で充分である。携帯基地局や Wi-Fi スポットからのマイクロ波により、野鳥や昆虫が来なくなってしまう可能性がある。	札幌市では、ICT（情報通信技術）の発展に伴い、暮らしの満足度の向上、行政サービスの効率化等を実現するため、ICT の積極的な利活用を進めております。 本計画におきましても、公園のさらなる利活用の促進、外国人来訪者への対応のため、ICT の活用に取り組んでまいりたいと考えております。 また、ご意見にありますとおり、表示板と併用しながら多様なニーズにこたえていきたいと考えております。

意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性10 公園の適正な管理と活用の推進	
○プレーパークの場の提供	
<p>10 プレーパークは、子どもたちの自然への愛着心や自然への理解の醸成、人々の交流の活性化や公園の活用促進など、さまざまな波及効果があるため、以下の支援を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーパーク実施団体の物品を置いて置ける倉庫の常設を認めてほしい。</li> <li>・倉庫兼避難場所とするため、団体活動拠点としてのコンテナの設置を検討してほしい。</li> </ul>	<p>公園は市民の皆さんが利用する場所であることから、利用の支障とならないように、公園内に設置できる施設には制限があります。</p> <p>現在、倉庫の設置については、自主防災組織が設置する防災資機材保管庫、及び町内会等が設置する公園の清掃や草刈などの維持管理用具の倉庫に限って認めている状況です。</p> <p>また、札幌市子ども未来局ではプレーパークの魅力を広く市民の方々に知っていただくとともに、新たな担い手を発掘することを目的に、出前講座やプレーパーク未開催公園での体験イベント等を通じ、普及啓発を行っています。</p>
<p>11 プレーパークの「場」の提供だけでなく、子どもの自主性や協調性を育むには「ひと」が重要である。そのため、既存のプレーパーク活動者に協力を仰いで人材を発掘することや、コミュニティソーシャルワーカーやチャイルドファシリテーター、プレイワークなどの研修の充実を図るなど、人を見つけ、繋ぎ、育てていく体系に力を入れてほしい。</p>	<p>プレーパーク事業の実施団体への活動支援として、座学と実地の両面からプレーリーダーの基本的な知識を習得する機会としてプレーリーダー養成研修会、他都市のプレーパーク事業の活動例等を学ぶステップアップ講座、プレーパークに関わる方々の安全管理の意識を高めるために安全管理講習会を実施しております。</p> <p>今後は、公園をプレーパークの活動の場としてより有効活用できるように、関係部局間で連携しながら取り組んでまいります</p>

意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性10 公園の適正な管理と活用の推進	
<p>12 P100 計画の中で「地域コミュニティの醸成」が掲げられているのがとても良い。プレーパークは、子どもの健全育成のみならず、地域コミュニティを醸成する場となる可能性が高いため、公園再整備時の住民の声を聴く場や、公園における防災機能の体験会など、さまざまなアイデアを市民とともに実現する場としても、引き続き検討してほしい。</p>	<p>プレーパークは子どもだけでなくそれを見守る大人たちの交流を促進するもので、地域コミュニティの醸成に貢献いただける活動と認識しております。</p> <p>ご意見のとおり、さまざまな方々とアイデアを出し合う場や実現する場を検討するとともに、公園再整備の際には、アンケートや地域への意見交換会を実施し、引き続きより多くの地域の意見を取り入れられるよう努めてまいります。</p>
方向性11 自然を知り・守り・つくり・活かす活動の推進	
○環境教育の推進	
<p>13 P105 地域の河川や公園において、近隣の小学校の児童達が教師に引率され、小魚や昆虫を採取する行為を毎年繰り返しており、川の生態系が危うく成りつつある。</p> <p>環境教育とは、生態系を維持する事と教えるべきであり、学校クラス単位での昆虫取りや川魚の採取は止めてほしい。</p>	<p>学校教育においては、児童生徒が生命や自然の大切さなどを実感しながら、環境に対する理解を深めることができるよう、地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を重視しており、これらの活動の実施に当たっては、各学校において生態系の維持に配慮しているところです。</p> <p>今後も、児童生徒の自然を愛する心情や、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を育成してまいります。</p>

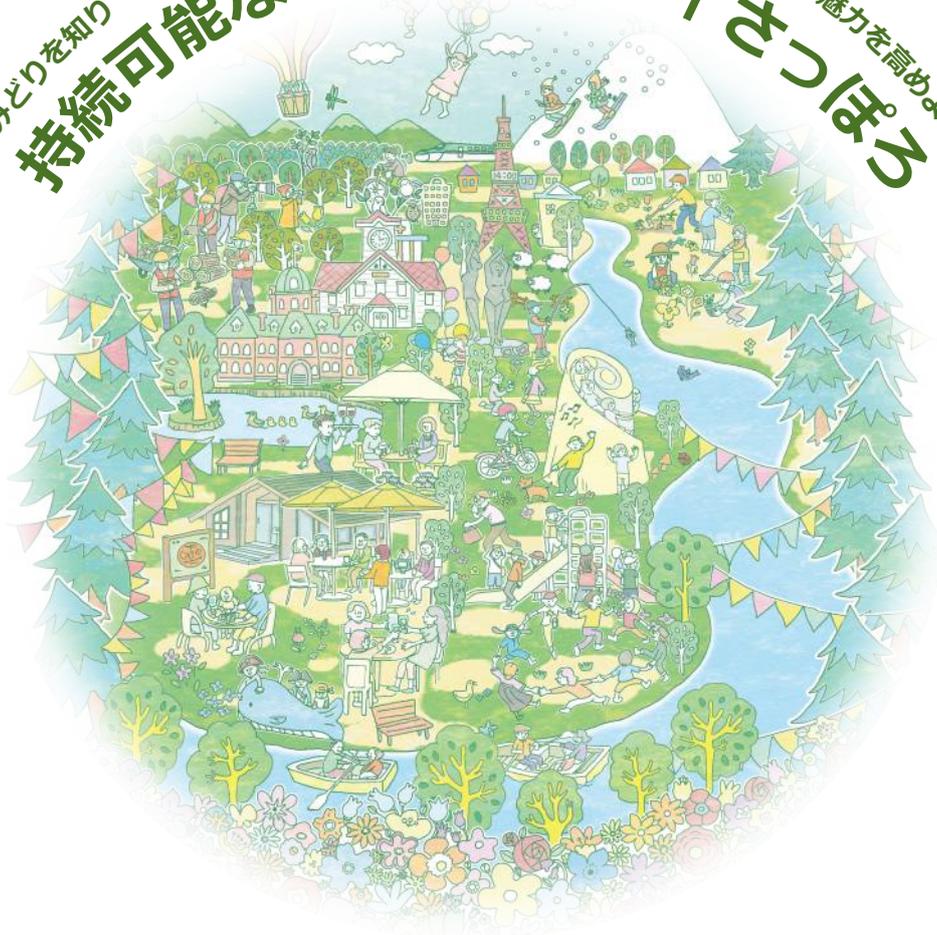
意見の概要	市の考え方
第6章 計画の体系と施策	
方向性14 協働によるみどりづくりの仕組みの充実	
<p>14 P109 多様な価値観で生きる人とのコミュニティづくりは実際には難しく、地域の人と一緒に考え、人材を発掘し、繋いでいくコーディネート役割が欠かせない。「ボランティア活動推進計画」の中で、コーディネートの在り方や仕組みが人件費の確保も含めよく議論され、より良いものとなることを期待する。</p>	<p>札幌市では公園ボランティアや森林ボランティア、さっぽろタウンガーデナーなどのボランティアの支援を行いながらみどりづくりを進め、登録者数は増加傾向にあります。</p> <p>本計画の第6章方向性14の「ボランティア活動の促進」にあるとおり、今後は、コーディネートの在り方や仕組みが、より良いものになるように取り組んでまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
全体・その他	
<p>15 第5世代移動通信システム(5G)の設置が原因とみられる野鳥の変死が、海外で確認されている。5Gの設置計画を断念するように、担当部に要請すべき。</p>	<p>第5世代移動通信システム(5G)については、総務省が事業の免許を許可しており、安全性についても検証を行っているものと認識しております。</p> <p>今後、さまざまな影響が明らかになった場合は、適切に対応していきたいと考えております。</p>
<p>16 採石場の活用法について議論や調査がされているが、周辺の整備や駐車場の確保などは検討してほしい。</p>	<p>札幌市では、山の手都市環境林内の採石場について、平成28年度(2016年度)～平成29年度(2017年度)に市民や専門家を交えて、保全と活用についての意見交換会を実施してまいりました。</p> <p>当該地の自然環境や周辺環境の整備については、人の手を入れずに現状のまま保全していくこととしております。</p> <p>また、採石場の近くに駐車場を確保することは考えておらず、既存の駐車場をご利用いただきたいと考えております。</p>
<p>17 人の技術やアイデアは、自然からヒントを得ることが多く、自然を愛し、接する機会が増えることで、日本人の知恵や発想が豊かになり、経済が発展し、健康増進や医療費の削減にも繋がるはずである。計画では人と自然の関係に対する根本的な思い違いがあり、全面的に見直すべき。</p>	<p>本計画では、森林などの自然環境を保全し、多くの人々が自然を学び、自然にふれあい、交流することを将来像の一つとしています。</p> <p>ご意見にありました、多くの人々が自然を愛し、接する機会が増えるよう取り組んでまいります。</p>





みどりを知り・守り・つくり・活かし、新たな価値を生み出し、まちの魅力を高めよう  
**持続可能なグリーンシティ さっぽろ**



---

## 第4次 札幌市みどりの基本計画

---

【発行】

札幌市建設局みどりの推進部

〒060-0051

札幌市中央区南1条東1丁目

大通バスセンタービル1号館6階

TEL:011-211-2533

---

【ホームページ】

<https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/keikaku/index.html>

---

**SAPPORO**